

## 船舶事故調査報告書

平成25年4月18日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	平成24年11月10日（土） 11時00分ごろ
発生場所	富山県氷見市阿尾漁港港口付近 氷見市所在の越中阿尾港東防波堤灯台から真方位180° 50m付近 (概位 北緯36° 53.0′ 東経136° 59.8′)
事故調査の経過	平成24年11月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート <sup>にしお</sup> 西尾丸、5トン未満 244-13380富山、個人所有 4.99m (Lr) × 1.64m × 0.65m、FRP ガソリン機関（船外機）、22kW、平成4年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 53歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成10年7月10日 免許証交付日 平成24年8月13日 (平成30年7月9日まで有効) 同乗者A 男性 37歳 同乗者B 男性 33歳
死傷者等	なし
損傷	船外機濡損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者A及び同乗者Bを乗せ、平成24年11月10日07時05分ごろから、阿尾漁港の東方沖から南東方沖の水深が約10～15mの海域を移動しては漂流することを繰り返してルアー釣りを続けた。 船長は、10時50分ごろ、同乗者Bが午後から所用があり、また、阿尾漁港の周囲に設置されている消波ブロックに上がる波が高くなっていることなどから帰ることにし、船尾の物入れに座って船外機を操作し、スロットルを半開状態として阿尾川河口の左岸に設けられた阿尾漁港の港口に向けて西進した。 同乗者Aは、11時00分ごろ前部にある物入れに船尾方を向いて

	<p>腰を掛け、釣り道具を整理しているとき、ふと船尾方を見たところ、高さが2mを超える波が迫って来ていることに気付いて船長に知らせたが、船長はどうすることもできず、本船は、右に回頭しながら右舷側に転覆した。</p> <p>船長、同乗者A及び同乗者Bは、本船の船底にはい上がり、同乗者Aが、ズボンのポケットに入れていた防水機能のある携帯電話により、付近で遊魚をしていた知人に事故の発生を連絡し、阿尾漁港を根拠地とする漁業者を経由して海上保安庁に救助の要請がなされ、来援したヘリコプターから降下した隊員により救助され、本船は、巡視艇により氷見市氷見港までえい航された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 1</p> <p>海象：潮汐 高潮時</p> <p>氷見市には、波浪注意報が発表されていた。</p> <p>阿尾漁港の南東方約8海里にある伏木富山港伏木における10時00分の有義波の波高、周期及び波向は、1.34m、10.2秒及び北北東であった。</p>
その他の事項	<p>船長は、本船を阿尾漁港の南側の所に流入する阿尾川の河口付近に係留しており、係留場所で同乗者A及び同乗者Bと待ち合わせをしていたものの、河口が浅くなっており、3人が乗ると喫水が深くなり、海上に出ることが困難と判断し、阿尾漁港で同乗者2人を乗せた。</p> <p>阿尾漁港港口付近の水深は、2m未満であった。</p> <p>船長は、本事故発生の前日の夕方に波が高くなっており、海上模様が気になっていたものの、出港する前に海上を見て支障がないと判断して釣りに出たが、氷見市に波浪注意報が出ていることを知らなかった。</p> <p>船長は、本事故後、救助に関わった漁業者から、漁業者の間では阿尾漁港の港口付近は「うねりがあるときには、7波に1回波をやり過ぎせ」と言われている旨を聞いた。</p> <p>船長、同乗者A及び同乗者Bは、いずれも上下の雨合羽に長靴を履き、救命胴衣を着用していた。</p> <p>(付図1 事故発生場所付近概略図 参照)</p>
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	<p>本船は、阿尾川河口左岸に設けられた阿尾漁港港口に向けて航行中、磯波を受けたことから、転覆したものと考えられる。</p> <p>阿尾漁港の港口付近は、水深が浅く、また、阿尾川の河口に面していることから河川流が存在し、うねりが磯波となって隆起しやすい海域であったものと考えられる。</p>

原因	本事故は、本船が、阿尾川河口左岸に設けられている阿尾漁港港口に向けて航行中、磯波を受けたため、転覆したことにより発生したものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海釣りに出る際は、入念に気象情報を収集し、波浪注意報などが発表されているときは、出航を控えること。</li> <li>・うねりは、海岸付近の水深が浅くなる場所では隆起しやすいことを認識しておくこと。</li> </ul>

付図1 事故発生場所付近概略図



※国土地理院電子国土 Web システム利用  
 事故発生場所  
 (平成24年11月10日11時00分ごろ発生)